



## 第2回こどもメディカルラリーを 開催しました

12月8日、当本部で市内の小・中学生が参加している「救急医学と健康講座」の受講者を対象に、第2回こどもメディカルラリーを開催しました。こどもメディカルラリーとは、怪我している人や倒れている人に対して、子どもたちだけで考えて119番通報や適切な処置などを行うコンテストです。様々な想定の中で通報や応急処置などを行うシナリオステーション、消防車両乗車体験やロープ渡りなどを体験できるサービスステーションからなる計5ブースあり、講座で学んだ内容（119番通報や外傷処置、胸骨圧迫、AEDの使用など）をもとに、10チームに分かれて実施しました。



▲3人で協力しながら処置をします



▲様々な場面を子ども達だけで対応していきます



▲防火服と呼吸器を身につけてダッシュ！



▲サービスステーションでは消火器も取り扱いました



▲優勝したDチーム



▲たくさんのご参加ありがとうございました

## 餅による窒息事故に注意！

### 窒息事故を防ぐために注意すること

- ・食べる前に水やお茶を飲む
- ・ひとりで食べない
- ・一口を小さく、ゆっくりよく噛む
- ・酒を多量に飲みながら餅を食べない

### 異物が喉に詰まった時の対処法

まわりの人が、異物を詰まらせたことに素早く気付くことです。喉に異物が詰まると急に咳き込んだり、突然言葉を発せなくなったり、のどを両手でかきむしるようなしぐさ「窒息のサイン(チョークサイン)」をします。このサインを見たら喉に異物が詰まっていないか必ず確認しましょう。

### 積極的に咳を促す

呼吸時に「ヒューヒュー」など異音がある場合は、異物が部分的に詰まっている場合があります。異物が取れるまで咳を促すように促しましょう。

### 背部叩打法と腹部突き上げ法（ハイムリック法）

完全に喉が詰まり窒息している場合の対処法として、背部叩打法と腹部突き上げ法（ハイムリック法）の2つがあります。

### 1. 背部叩打法

背部叩打法は、左右の肩甲骨の中間を手の付け根で上部へ突き上げるように叩きます。5回程度連続して叩いた後に確認し、異物が除去できるか反応がなくなるまで、その動作を繰り返してください。

### 2. 腹部突き上げ法（ハイムリック法）

喉を詰まらせている人の背部に立ち、おへそのやや上（みぞおちの下方）に親指を腹部側にあてて握りこぶしをつくり、もう片方の手を添えて、すばやく上方へ突き上げるように圧迫します。臓器を損傷している可能性がありますので、実施後は必ず病院を受診しましょう。※妊婦・1歳未満児には行えません。

### 反応がなくなった場合は

発見した時から反応がない、もしくは異物除去中に反応がなくなってしまった場合は、ただちに通常の心肺蘇生を開始します。

- ・助けを呼ぶことや119番通報が済んでいない場合は、すぐに助けを呼び、119番通報とAEDを手配します。
- ・心肺蘇生を開始します。
- ・心肺蘇生を行っている途中で、口の中に異物が見えた場合は、異物を取り除きます。
- ・口の中に異物が見えない場合は、異物を探すのに時間をかけず、心肺蘇生を繰り返します。

## 新常陸大宮東救急1号車運用開始

新常陸大宮東救急1号車が12月4日から運用開始しました。救急救命士による高度な処置ができる資機材を積載した高規格救急車として、市民の皆さんの生命・身体を守ります。



▲新常陸大宮東救急1号車



▲三次市長より鍵が手渡されました

### お詫びと訂正

広報常陸大宮12月号FDHに掲載した、わが町の消防団ポスターコンクール表彰者の学年に間違いがありました。お詫びして訂正します。

正しくは【優秀賞】和田翔平さん（大宮小4年）、坏瑛太さん（山方南小4年）でした。

■問い合わせ■ 消防本部 ☎54-0119